

季節のことば

ませる。広辞苑には「年齢の割におとなびに見える。老成する」などと出ているが、いわゆる「早熟」を指し、やや眉をひそめて言う言葉のようだった。異性への目覚めが早いのを「ませた子」だよと顰蹙したのはもう昔のこと。

熟になってしまった。年々春が早く来ている。歳時記をひもとくと、春という言葉の語源には、草木の芽が「張る」、田畑を「墾る」などの諸説がある。少女の胸がほのかな朱色をおび、ブクッ膨らむことも「墾る」という。

Mikasa NEWS

三笠ニュース

PR旬報/年4回発行

発行所 三笠産業株式会社

郵便番号101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411 大代表 ファックス03(3233)0530

管埋設工事に最適！ 宮脇のスリムランマー MTR-40F

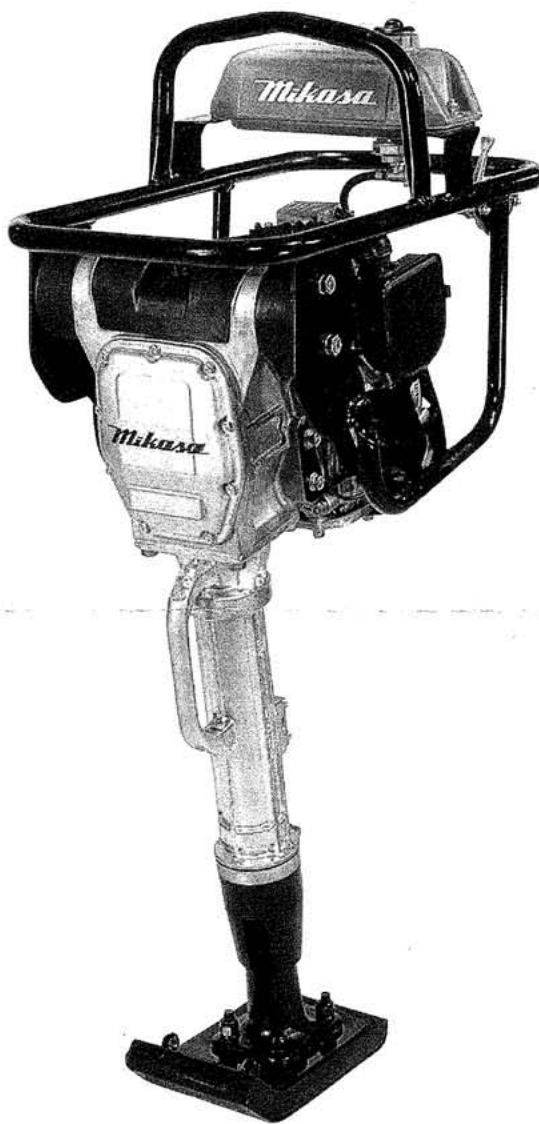
三笠産業では1995年に、狭い溝の中、特に管周辺の締固めに適したランマーをとのご要望にお応えして小型のMTR-35W型を開発しました。狭い溝内の輾圧作業に特化して設計されたスリムな機体は、狭い溝の中でも自由自在に操作ができること、管周辺がしっかり輾圧できること等により各所でご好評を頂いております。しかし50～60kg以上の標準タイプのランマーが4サイクル化していく中でこのMTR-35W型も4サイクル化を望まれるようになってまいりました。また、海外のお客様からも排気ガスがクリーンで、ごく狭い幅の溝を直接輾圧できるランマーが欲しいと要求が寄せられていました。

そのご要望にお応えし、このたびMTR-35W型の後継機として4サイクルガソリンエンジンを搭載したMTR-40F型を開発しました。主な特徴は次のとおりです。

- ①エンジンはMT-52FW、55型で熟成された、環境に優しいOHC型4サイクルエンジンを搭載しました。燃料コックを閉じれば、どの方向に倒しても燃料は漏れません。
- ②狭い場所や溝の中の作業でエンジンの破損を防ぐ為、ハンドルにはガードフレームを設けました。更にエンジンのリンク類、マフラー、オイルゲージの破損防止に、エンジンの左右を強固なカバーで保護しました。
- ③ダブルクリーナーにはMT-55型で実績のある専用設計の、樹脂製クランクケース一体型プレクリーナーを採用しました。

仕 様

型 式		MTR-40F
機体寸法 mm	全 高	1,109
	全 幅	350
	全 長	623
衝撃板の寸法 mm	幅×長さ	150×270
装備質量 kg		46
衝撃板のストローク mm		40～55
打撃数 min ⁻¹ (毎分)		669～695
打撃力 毎回 kN(kgf)		4.9～5.4 (500～550)
燃料タンク容量(リットル)		2
エンジン	型 式	ロビンEH09 4サイクルエンジン
	最高出力kw(ps)	1.8 (2.4)
	燃 料	無鉛レギュラーガソリン
	潤滑油	自動車用エンジンオイル SE級以上



- ④ハンドル周辺はMT-55型同様ストッパーゴムを採用する事で、作業中はあくまでもソフトな手許振動を確保し、ハンドルを押し下げればストッパーゴムの働きにより、確かな走行性能を実現しました。
- ⑤調速レバーは操作の楽な三笠オリジナルのダイキャスト製レバーを採用しました。
- ⑥機体の下部は耐磨耗性の特殊铸铁製ガイドシリンダーで覆いましたので、オイルバス型ランマーの苦手な狭い場所や溝の中でも気軽に作業が出来ます。
- ⑦運搬時はハンドル前端部と専用グリップを握れば、容易に移動できます。

ではどのような所に使われるのでしょうか。神奈川県を例に見ると、県内でも立地条件から大手企業の工場、研

究所等が林立する相模原市では市道の管理も非常に厳しく、上下水道工事での埋戻しの際の貫入試験も厳格に行われています。その中で、従来のタンピングランマーでは『管周辺の輾圧』が非常に困難でした。開削幅650mmの中心に250mmの下水道管を設置し両脇に矢板を入れると、輾圧出来る幅は160～180mmしか残らず、しかしN値18回が条件となっています。このような現場こそMTR-40F型が得意とする場所です。細身の形状と軽量の機体を生かし、管の左右を自由自在に移動しながら、2サイクルのような排気煙に悩まされる事無く、指定のN値に輾圧する事が出来ます。

海外に目を向けると、光ファイバーケーブルの埋設工事等では6インチ幅のみ掘り起こすという工事が主流となっております。三笠があえてグリス潤



春まだ浅かった頃、史記のつまみぐい(宮脇俊三著)という新刊書をつまみ食した。今すでに春爛漫の季節であるけれど「つまみ食い」の味が忘れられず時々つまみなおしている。司馬遷の『史記』は中国史の原典として名高く、故事成語や名句名言の宝庫であるが、成程こういう味読の方法もあったかと私は目の覚める思いがした。そして著者の宮脇俊三氏を鉄道紀行作家とばかり思い込んでいた私の不明を深く恥じたものである。『史記』に登場する人物たちと著者自身の生き方・考え方を重ね合わせたこの随想に「私小説の風格」を認めた阿川弘之氏の跋文も読ませるものがあつた。

周知のように『史記』には王侯貴族から遊侠無頼の輩まで実に様々な人間が登場する。「刺客列伝」には五人のテロリストが書かれているそうだが特にくわしく記述されているのが荊軻(紀元前二二七年没)だという。私も中学生の頃、何故か戦慄的な印象をうけて覚えた「風は蕭々として易水寒し、壮士ひとたび去りて復た還らず」の詩。見送りにきた友の弦にあわせて刺客荊軻が歌う。宮脇俊三さんの本では「壮士ひとたび去らば、復び帰らず」と訓ませているが、なにはともあれ目指す秦の始皇帝に直面しながら刺殺に失敗した悲しきテロリストの死を、まざまざと見たような気のする「史記つまみぐい」であつた。

茫々二千余年の昔。そして今の世にはびこる無差別テロとの相違等に思い至ると「つまみ食い」の余波は収拾もつかないが、今回の「窓からの想」は故宮脇俊三さんの新刊紹介でペンを置くことにしよう。

滑構造を採用した理由もここににあります。狭い溝の中でもグリス潤滑であれば機体の破損を気にせず作業する事が出来ます。更に一般の現場でも、電柱の周囲等通常の機械では輾圧し難い場所も作業することが出来ます。

狭い場所の輾圧にはMTR-35W型で培ったノウハウを随所に活かしたMTR-40F型を是非お使い下さい。

WOC (ワールドオブコンクリート) 展出張の記

今年はフロリダ州オーランドでの開催となりました……

今回、ワールドオブコンクリート(WOC)展の視察をする機会を得ました。私にとっては初めてのアメリカ出張であり、大変貴重な経験となりましたのでその一部をご紹介します。

毎年WOC展には米国の代理店であるマルティクイップ(MQ)社が出展し、三笠製品を展示しています。WOC展はラスベガスで開催されることが多いのですが、今年はフロリダ州オーランドでの開催となりました。機密事項?も多少はあるので仕事の話は少なめに、WOC展の雰囲気をお伝えしたいと思います。

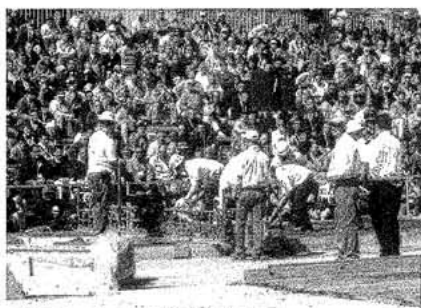
オーランドへは成田からの直行便がなく、シカゴ経由となるのですが、その乗り換えを自分一人でやらなくてはならないのです。コミュニケーションの手段にはなりそうもない自分の英語を使って、シャトルに乗って移動するほど広いシカゴ・オヘア空港での乗り換えは、旅慣れた人にはどうということはないのですが、国内営業一筋の私には、本来の仕事以上のプレッシャーがかかっていました。それと、もう一つ問題なのは十数時間タバコが吸えない事。幸いなことに禁断症状は出ませんでした。これはクリアーというより吸いたくても吸えないんですから、あきらめるしかないわけです。

入国審査では審査官の質問にはなんとか英単語で答え、一部コミュニケーション不能のところもあったものの、なんとか米国の土を踏めました。乗り換えは口よりも目を使い、国際線の到着ターミナル5からシャトルで第一ターミナルに到着。乗り換えの為、チェックインカウンターに向かいますが、途中の通路や、いくつかの入り口付近に搭乗案内がディスプレイされているので、目的便への乗り場の確認は比較的簡単に理解出来ます。

無事オーランドに到着。先発していた藤岡課長代理、長谷川工場長と合流して、ホテルへ(家を出てから約26時間経過、これからは英語ペラペラの人達と一緒に!!)。

ところでこのホテルは無線LANのアクセスポイントが設備されていて、迷わず借りる事にしました。何かマニュアルが付属していましたが、パソコンのスイッチを入れるだけで、インターネットにつながってくれました。家の無線LANは結構面倒だった事を考えると感激!!

ここから本来のWOC展の話になりますが、展示会場の「オレンジカウンティコンベンションセンター」はホテルからは歩いて15分程度で、便利なところにあります。日本人の誰しも感じる事と思いますが、とにかく広い。東京では有明のビックサイトもかなり広いと思いますが、そのビックサイト東館の3倍はあるようです。確か



デモンストレーション会場

に縦方向は端から端まで900m程あります。入り口を背にして左から100単位でブース番号の表示板が通路毎(8~10m間隔)に天井から吊り下げられていて、最右端部は8600。さらにL字に曲がった部分まで含めると9800まで展示されています。このブース番号を目印にすると位置確認が簡単に出来ます。その他通常の展示スペースではないと思われる部分にも展示品が溢れている他、屋外会場では、デモ可能なメーカーの主力製品が運転されていて、来場者の期待に応えてくれます。特にデモンストレーションしている機械のサイズの大きさと数、頻度は迫力がありました。

ところで三笠製品が展示されているMQ社のブースは、先ほどの通路番号でいうと3100付近からで、かなりのスペースが確保されており、ブース内には三笠製品以外にもホワイトマン、デンヨー、ストー等の製品が整然と工夫を施し展示されています。

開催日の前日のミーティング後、MQ社のスタッフは展示品の点検、展示位置の改善、カーペット表面のビニールの除去、掃除等の設営準備をてきぱきと行っていました。また展示会当日もMQ社のブースには大勢の来場者があり、MQ社のスタッフはそれぞれの部署で、忙しく商品説明や受注交渉などスムーズに対応していました。朝食を食べている時と目の色が違っていました(ブルーという意味ではありません)。そういった様子を見て、日本国内の展示会での営業マンの働きと一緒で、MQ社の営業スタッフに国境を超えた共感を抱くとともに、彼らを頼もしく感じました。そして、彼らが三笠を支えているという事が十分に理解出来ました。

また、このあたりには三笠のライバ

ルメーカーとなる、パイプレーター、ランマー、プレート、ローラー、コンクリートカッター、パワートロウエル等の展示が多いのですが、日本国内のメーカーはほとんどなく、海外メーカーの多い事におどろかされます。また初めて目にするメーカーもあり、世界の広さを痛感しました。

その他、油圧ショベルやタイヤも含め車両関係の他油圧機器や、小型機械も数多く展示されています。逆の方向に向かうと(ブース番号3100~9600)。小型のモルタルミキサー、モルタルポンプ、キャリアといった日本ではあまり目にしないものや、電動工具、鉄筋加工機、石材、ブロック、コンクリート製品、型枠(発泡スチロールや、樹脂を利用したもの等)、コンクリート混入用色剤、剥離材、刷毛や、ほうき、ブラシ、吊り具、レーダー、床材、床仕上げ機、仮設資材、高圧洗浄機等のメーカーのブースが次々と現れて来ます。それぞれが日本国内のものとは微妙に異なった特徴がある事と、世界にはこんなにメーカーが在るのかと驚かされます。またこの広い会場で、通路を歩きにくくなるほどの来場者があったという事にも感心させられました(約60,000人)。

ところで、すれ違う時に肩などの身体の一部が接触せざるを得ない場所もあり、そんな時、例外なしに「エクスキューズミー」と言われます。自分もそのくらいは言えますが、アメリカ人の礼儀の良さを感じます。習慣の違いなのかもしれませんが日本で言う「すみません」よりも遥かに頻度が多い「エクスキューズミー」で好感を持ってました。

最後に今回大変お世話になったMQ社の皆様ありがとうございました。これからもご活躍されることを期待しております。

営業開発室 和泉記

「三笠」がある風景

ランマー個人ユーザー紹介

文と写真
上海三笠・韋曉蕾

中国江蘇省泰興市の個人ユーザ張さん(農民)は2001年にMT-72FWを1台購入。農家が家を建てる時の土地の基礎輾圧や壁際輾圧仕事を狙い、個人でこのような仕事を受けることを始めた。

去年の1月から3月、そして7月から9月までの6ヵ月の間に(中国の田舎で個人が家を建てる工事のブーム時期)、張さんは200軒位の農家の建築工事で輾圧作業をしました。一軒の作業で約130元(1元=約15円)の収入があり、この半年で約26,000元を稼ぎました。

作業範囲は殆ど半径15キロの間に集中し、当地では農民達がランマーで土地の基礎輾圧や壁際輾圧をした場合のスピーディな効率と高い効果を認めているため、家を建てる工事のブーム時期に仕事が間に合わないことがあり、張さんは今年もう1台購入するつもりです。



また、同じ町の徐さんと於さんも張さんの稼ぎ方を見て、去年三笠のランマーを各1台購入し、張さんと同じ仕事で稼ぐことを始めています。

ランマーのユーザ層の開発として、

これからはこのような潜在ユーザが中国でどんどん増えてくると思いますので、もっと広い範囲での宣伝を工夫したいと上海三笠は頑張ります。



技術教室



今回の技術教室はバイプロコンパクターの優れた性能を生かし、安全に効率よく作業をしていただくために、ご注意頂きたいことについてご説明致します。詳細は製品に添付されている取扱説明書に記載されておりますが、主な事柄を抜粋させていただきます。

一般的な注意事項

- ・体調が悪い時や薬を服用している時また、飲酒をした時は運転しないで下さい。
- ・ヘルメット、耳栓、保護靴を着用し、巻き込み、引っかかりの起きないような適切な服装で作業してください。

燃料補給時

- ・燃料補給時は必ずエンジンを停止して下さい。
- ・補給時にこぼれた燃料は、よく拭き取って下さい。
- ・燃料補給中は、絶対に火気を近づけないで下さい。特にタバコには注意して下さい。

使用場所、換気に関して

- ・室内、トンネル内など換気の悪い場所では使用しないで下さい。エンジンの排気ガスには、有害な一酸化炭

素が含まれており、非常に危険です。

始業点検

- ・各部をきれいに掃除し、泥、ホコリを取り除いてください。特に輾圧盤の底面についている泥、エンジンの冷却風入口、気化器及びエアークリーナーの周辺はきれいにして下さい。
- ・各部の締付けネジが緩んでいないか確かめてください。ネジが緩んでいると振動のため大きな故障の原因となります。
- ・ガードフック、ベルトカバー、防振ゴムが変形していないか確認してください。また、レバースイッチ、ケーブル等コントロール部品が正常に機能するか点検してください。
- ・油圧ポンプや配管ホースから油漏れがないか点検してください。
- ・Vベルトの緩みを点検してください。張りの具合は両軸の中間のところに指で強く押して10～15mmたわむように張ってあれば正常です。Vベルトが緩んでいるとエンジン出力の伝達が悪く、輾圧力が弱くなるとともにVベルトの損耗が早くなります。
- ・エンジンを水平にしてオイルを点検

- し、不足しているときは指定のオイルを補充してください。
- ・ハンドルの高さを作業しやすい高さに調節してください。
- エンジンの始動（セルスターターの場合）
- ・5秒以上連続してセルモーターを回しても始動しないときはキーを「運転」の位置に戻して10秒以上休んでから再始動してください。
- ・エンジン始動後は2～3分間低速で暖機運転してください。

運転

- ・スロットルレバーを急激に開くとコンパクターは作動をはじめます。回転をゆっくり上げるとクラッチがスリップしますので、スロットルレバーの開閉はためらわずに一気に操作してください。
- ・走行レバーを操作してコンパクターを前後進させます。走行レバーを前に倒すと前進、後ろに引くと後進、中立はその場で振動します。
- ・運転時には、機械の進行方向に本機及び人体に損傷を受ける可能性のある障害物、構造物がないか十分確認してください。
- ・常に足場に注意し、機体のバランスが保てる無理のない安定した姿勢で作業を行ってください。
- ・粘土を含む土壌を作業する時、輾圧盤が地面から離れにくく、走行が遅くなる場合があります。この時は輾圧盤の底面に粘土が付着していないか点検してください。なお、粘土質や高含水比の土壌にはコンパクターの輾圧力は有効に働きませんから、適正な含水比まで乾燥させるなどし

- て、再度輾圧を行ってください。
- ・機械から離れる場合は、必ずエンジンを停止して下さい。
- ・作業を止める時は、作動させる時と反対にスロットルレバーを一気に戻して低速回転にして下さい。
- ・エンジン停止時は走行レバーを数回前後させると重くなります。これは、ハンドポンプ内のチェックバルブが作動しているためで、故障ではありません。走行レバーはエンジンを始動させ、起振体を振動させると正常に動作します。

停止

- ・作業を止めてエンジンを停止するときはスロットルレバーを戻し、低速回転で運転して温度が下がってからエンジンを停止してください。
- ・エンジン停止後は燃料コックレバーを閉じてください。

積み込み、積降し、運搬

- ・機械の積み込み、積降しはクレーン等で行ってください。（クレーンによる積降し作業は資格が必要です。クレーンの運転、玉掛け作業の資格のある人が行ってください）
- ・吊り上げ作業に際し、本機部品（特にフック、防振ゴム）の損傷やネジの緩みが無く安全であることを確認してください。
- ・長距離、悪路の運搬時は燃料を抜いてください。

以上、主な点を列記しましたが、詳しくは機械に添付されている取扱説明書を良くお読みになって安全に効率良く作業を行ってください。



総務部 原田博文

紙面の都合でしばらくお休みしていた「自転車に乗って」。季節もよくなりましたのでまた元気にペダルを踏んで走り出したいと思います。

そこで、今回出かけたのは埼玉県川越市。江戸時代に川越藩の城下町として栄えた町で、松平信綱や柳沢吉保などの有力大名が配置され、江戸文化が盛んに移入されたことから「小江戸」といわれ、休日には多くの観光客でにぎわう町です。柳沢吉保は五代将軍綱吉が館林藩主であったころから仕えていましたので、主力工場が館林にある



蔵造りの街並み

三笠産業の社員としては縁の無い町というわけではありません。

さて、我が家から川越に行くには荒川サイクリングロードを少し走って、「開平橋」から県道川越上尾線で行けば近道なのですが、車と一緒に道は走りにくいし、自転車散歩人(?)としては面白くない。あくまでも自転車らしいコースで行こうということで選んだ道は入間大橋で荒川サイクリングロードから分岐する川越狭山自転車道（入間川サイクリングロード）を走って行くコース。入間川の堤防に沿った道なので川越の市街地を東から北側を大きく半周しています。

サイクリングロードに入っただけは周りが工業団地ということで、あま

り景色は良くありませんが道路はきれいに整備されていて、途中に休憩所もあり、気持ちよく走れます。

川越市の西側にある「雁見橋」あたりまで来ると河川敷が狭くなり、水辺が近くなって普段走っている荒川サイクリングロードとは違った雰囲気を感じます。

そうこうしているう

ちに東武東上線の線路が見えてきたので慌てて進路変更して市街地を目指します。早朝のため人通りもまばらな蔵造りの街並みを走り抜けて、最初に向かったのは「菓子屋横丁」。明治の初めにこの一帯で駄菓子の製造をしたのが始まりといわれ、現在では十数軒の店で観光客向けに昔なつかしの駄菓子やベーゴマなどのおもちゃを売っています。まだ早い時間帯だったので観光客の姿はほとんどなく、店の人たちが開店の準備中でしたが、自転車が入っていくのは気が引けたので近くのお寺の境内に自転車を預けて行くことにしました。

あとは、江戸城から移築された「三代将軍家光誕生の間」や「春日の局



化粧の間」が見られる喜多院と市役所の前にある太田道灌の像を見物し、お土産に川越名物「くらづくり本舗」の「スイートポテト・べにあかくん」を買って帰途につきました。本日の走行距離は約4.5kmでした。

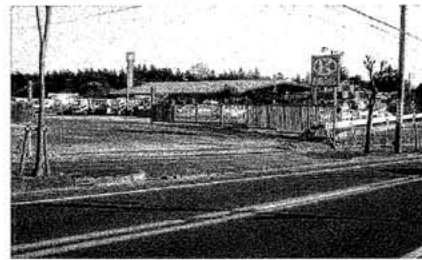
ここで今回の教訓です。川越の町を自転車で走るなら朝の内にしましょう。以前に行った時は日中だったので、歩道は観光案内を手に行き来する人たちでいっぱい、車道はバスや近郊のナンバーをつけた車であふれ、とても自転車で走れる状態ではありませんでした。もっとも川越の観光スポットは「蔵造り・菓子屋横丁・時の鐘エリア」「喜多院エリア」「博物館エリア」というように分かれていて、それぞれのエリアは比較的狭い範囲ですので、自転車は各エリア間の移動だけにして、それぞれのエリア内はのんびり歩けば自転車も有効です。



株式会社共成レンテム 土浦営業所オープン

株式会社共成レンテム様(本社 北海道帯広市西18条北1-14 黒川和雄社長)におかれましては、平成15年12月12日(金)に新たに土浦市に茨城県内7店舗となる土浦営業所(茨城県土浦市北神立町7-5 石塚常男所長)を開設されました。隣接する阿見町にある旧土浦営業所は、同じ場所で名称を阿見営業所として石塚所長のもとで業務を継承しております。

新土浦営業所は広々とした約3,300㎡の敷地に2.9tの門型クレーンを構え、土浦市内はもとより、常磐新線(つくばエクスプレス 平成17年秋開業予定) 関連工事、圏央道工事等に加



え近隣のつくば学園都市開発に伴う需要に対応するとともに、石岡営業所と阿見営業所のちょうど中間点という位置関係にあることから、お客様のアクセスも非常に便利になり、三笠製品をはじめあらゆるニーズにより一層機敏に対応できるサービス体制を整えておられます。

今後の株式会社共成レンテム様の益々のご繁栄と社員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

東関東課 平田記

ランドフェアーで新しい発見part II」をテーマに開催されました。

私ども三笠産業と致しましては環境、効率性を重視して開発したMT-55型4サイクルランマー、60kgクラス前後進プレートMVH-R60型、騒音対応MVC-F60S型静音プレートコンパクター、型枠損傷防止及び騒音軽減型ラバーヘッドバイブレーターVH-RB、FX-RBシリーズなど多数展示し、お客様も実際に機械に触れ、その使いやすさ 抜群の操作性 また安全面での設計に驚嘆していただき、多くの御成約を頂くことが出来ました。

展示会開催にご尽力されました主催の北海道ユアサやまづみ会の皆様、ユアサ商事株式会社の皆様方にお礼を述べさせて頂くと共に、今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

札幌課 池尻記

第18回オープニングフェア 札幌営業所にて盛大に開催

3月16日(火)、17日(水)の2日間、札幌営業所にて18回目となる恒例のオープニングフェアを北海道三笠会の協賛により開催致しました。当日は強風や小雨の降る天候にもかかわらず札幌近郊はもとより釧路、帯広、陸別、浦幌、稚内、旭川、函館と全道より大勢のお客様にご来場頂きました。

展示会では三笠の主力製品を多数展示してお客様をお出迎えしましたが、中でも振動筒を金属製(メタルヘッド)とゴム製(ラバーヘッド)に交換可能な新型高周波バイブレーター、マイコンバイブレーターや、モデルチェンジとなった重機用前後進パイロコンパクターMVH-306をはじめ、小型油圧パワーユニットを使用したハンドブレーカーや杭打機等の実演を行い、実際にお客様に見て頂き好

忍法猿楽流 三笠丸 永 # 卯



評を得る事が出来ました。

又、アトラクションとしまして、すっかりお馴染みとなりましたプロゴルフによる無料レッスンコーナーでは、今年も多くのお客様が熱心にレッスンを受けられ、今シーズンに向けて備えられている様子でした。

多数のご来場、ご成約を頂き感謝申し上げます。

札幌課 高橋記

千葉リース工業株式会社 守谷営業所をオープン



平成15年12月15日(月)、千葉リース工業株式会社様(本社 千葉県東葛飾郡沼南町大井1877-1 松尾淳一郎社長)におかれましては、5カ所目の営業拠点として、千葉県外でははじめてとなります守谷営業所(大川修所長)を茨城県筑波郡谷和原村筒戸字諏訪3332-2 (TEL:0297-25-3811)に開設されました。

新営業所は2005年秋には常磐新線開通を控え、益々発展していく常磐自動車道・谷和原インターに程近い国道294号線沿いにあり、建機レンタル業務には打って付けの交通至便の場

所です。敷地約3,300㎡のヤードを構え、これまで長年培ってきたノウハウを最大限に生かして、地域密着の「お客様に愛される営業所」創りを目指しておられます。

千葉リース工業株式会社様の今後益々のご発展と守谷営業所の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

東関東課 平田記

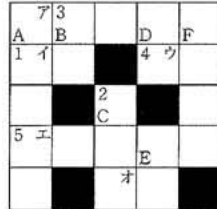
ユアサランドフェア2004 盛大に開催



第25回産業とくらしのユアサランドフェアが今年も全国に先駆け3月16日(火) 17日(水)の2日間、札幌市の「アクセスサッポロ」で「探しのものは何ですか? A I I in One のグ

三笠クイズ VOL.53

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、春にちなんだことばが浮かんできます。さて何でしょう。



ヒント

ヨコのかぎ
ア. エープリル・フルを日本語で言え。
イ. 建物で、根太(ねだ)で地面より高く持ち上げ、板などを敷いて人が立ったり座ったり、物を置いたりする平面。フローリングの○○。
ウ. 尺貫法で長さの単位。実物と同じ大きさは原○○大。
エ. イヤリング。
オ. おわり。○○のすみか。

タテのかぎ
A. ○○○○暁を覚えず。
B. 絵を描くことを職業とする人。えかき。
C. 注意の足りないこと。○○○には手を出せない。
D. 大型の乗合自動車。観光○○。
E. 価値のあるもの。富。○○を成す。
F. 頭にかぶるものの総称。お○○○○とは怒っていること。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。
●あて先 ☎ 101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3 三笠産業株式会社 「三笠ニュース」編集室
●締切り 2004年5月24日(月) 消印有効

VOL.52の答えは「ホリゴタツ」でした。

次の10名様に図書券をお送りしました。

小師勝四様(台東区) 菅原萬亀子様(仙台市) 風間春之様(三島郡) 海野友美様(静岡市) 鈴木信子様(那須郡) 式尾綾乃様(むつ市) 小林道弘様(大島町) 赤崎英知様(三養基郡) 阿久津信也様(上川郡) 横倉進様(上越市)

氏名 小林陽一
生年月日 昭和53年3月28日
出身地 神奈川県
所属 開発部
家族 独身



—日頃どんな仕事をしていますか?

技術研究所の開発部に所属しております。プレートコンパクター、パイロコンパクター、コンクリートカッターを担当し、新製品の開発業務を行っております。

—今最も関心を持っていることは何ですか?

1年前に中古車を購入しました。機械いじりには多少自信がありますのでメンテナンスや修理は自分で行っております。昨年の夏、エンジン補機プーリーが破損し、汗だくで修理をいたしました。古い車の宿命ですね。

車輛のメンテナンスをする中にも、製品開発に反映できるアイデアやヒントがあると思いますので、広い視野で機械に接しようと心がけております。

—お客様に一言どうぞ

間もなく入社1年になります。まだまだ至らない点はあると思いますが、市場のニーズをいち早く取り入れ、お客様に喜ばれるような魅力ある製品開発を行ってまいります。これからも、弊社製品をご愛用いただきますよう何卒よろしくお願い致します。

我・ら・三・笠・産・業・の・こ・れ・が・こ・の・こ・ろ・に・あ・る・こ・と・を・し・て・い・ま・す



氏名 折原美由紀
生年月日 昭和54年10月18日
出身地 埼玉県
所属 営業サービス部
家族 独身

—日頃どんな仕事をしていますか?

部品サービスセンターにて主に部品の受注・売上の入力業務を行っています。

—今最も関心を持っていることは何ですか?

スノーボードです。4年ほど前に友人に誘われてやってみたら全然できなくて悔しい思いをしました。負けず嫌いな性格なので絶対に滑れるようになろうと努力し、何とか滑れるようになりました。今シーズンは特に気合が入っていて5回行きました。今は滑るのが楽しくて仕方がありません。スピードをつけて一気に滑っていくととても爽快な気分になり、ストレス解消になります。もっと練習してどんな斜面でも楽々滑れるようになりたいです。

—お客様に一言どうぞ

三笠産業に入社して1年8ヶ月ほど経ちました。上司や同僚にも恵まれて充実した日々を過ごしておりますが、まだ勉強しなければいけない事がたくさんあります。一生懸命頑張りますので三笠ニュース読者の皆様もご指導をよろしくお願い致します。